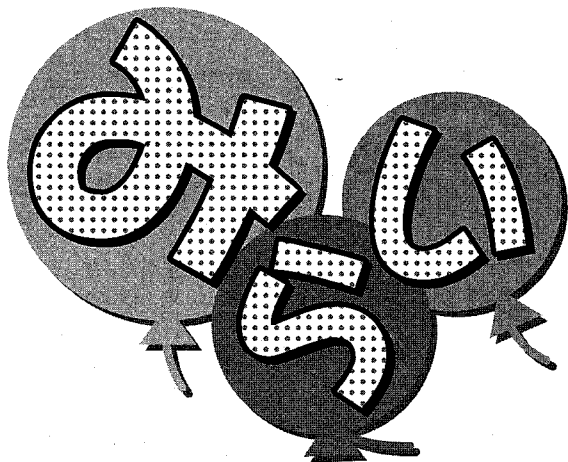




高知市まちづくり未来塾広報委員会発行

みらいづくり

2005 12.1 創刊号

平成9年10月に「高知市まちづくり未来塾」が結成され今年で8年目を迎えました。この8年を振り返ると、前半は先遣地視察を含め「地域づくり団体全国研修交流会」等へ参加をし「市民と行政のパートナーシップのまちづくり」を全国に向け発信してきたように思います。

「コミュニティ計画や未来塾の取り組みは、全国のまちづくり人からの反応がとて良く、高知は元気がある、高知に元気を貰った、高知はすごい！」と、絶賛されました。

その一方で、地域における活動の温度差から、未来塾の取り組みに対して、ついでいくのがやっという塾生も多かったように思います。

その後、地域の活動も活発になり始めると同時に、未来塾の活動も少しずつ変わってきました。体制も代わり、背伸びしない、地域を見据えた活動に重点を置くようになりました。塾生同士のスキルアップを図るための、ワークショップやプレゼンの実践も行いました。

また、塾生の企画による、市民会議同士の交流会や行政担当職員との座談会形式の連続講座は、参加をされた皆さんに大好評でした。

そして、今年度からは更に一歩前進し、未来塾の自立、自主運営をめざして活動を行っています。その活動の一環として、広報誌「みらいづくり」を初めて塾生の手で発行する運びとなりました。

未来塾には、地域の各市民会議をつなぎ、連携や交流を促進するという大きな役割があります。最初は遠慮がちであったメンバーでしたが、日を重ねるごとに議論が飛び交うようになり、それが塾生の間に強い絆を生みました。この素晴らしい未来塾の輪が、各地区市民会議の連携、発展につながっていくことを願っています。

高知市まちづくり未来塾

代表 岡田 法生

未来塾のこれから



事務局機能を塾生で

今まで、まちづくり推進課に頼っていた事務局を塾生が受け持ちました。事務局長と書記を配置して、定例会の議事録や会の案内を塾生で作成することになりました。それだけの人材が未来塾にはいたのです。



自主運営の第一歩

今年の4月、未来塾の存続についてまちづくり推進課と話をしました。塾生が固定化しつつある中で、「今のままの未来塾を続ける意味があるのだろうか。一定、未来塾の役割は消えたのではないか」といった存在意義が問われる中、「自分たちで出来ることは自分たちでやろう」という熱意が沸いてきました。市民会議同士の連携や交流、生の情報交換ができる場所は、未来塾しかない。そのため、「自主運営をしよう」と、いった塾生の自覚が芽生えました。



役割分担

メンバーそれぞれの役割分担は自立の第一歩です。班分けをして連絡網を活用したり、活動ごとに委員会を立ち上げて進めています。これからも、未来塾ならではの学習・活動を皆で出し合い、楽しみながらまちづくりを考えたいと思います。



広報誌でPR

「みらいづくり」は塾生手作りの広報誌です。記事・編集、レイアウトなど全てを行っています。創刊号は編集委員がスッタモンダして、作りました。より多くの皆さんに、未来塾について知ってもらい、関心を持っていただけたらと願っています。皆さんの率直なご意見、アドバイスをお待ちしております。



各市民会議の橋渡しに (出張未来塾)

各市民会議が主催するイベントや地域の小さな活動にも、PRを兼ねて未来塾として参加し、お手伝いをしています。そこで学んだ様々な知恵を持ち帰り、各々の地域に紹介し活用しています。これからも、未来塾がこのような活動を行うことで、垣根を越えた地域間の交流の輪が広がってくれると思っています。そんな橋渡しを、未来塾はしてゆきます。

高知市まちづくり
推進課より

今年(平成17年)4月、市(行政)と塾生との大議論の末、まさに新しい未来塾が誕生しました。塾生とはじめて目的を共有できた瞬間かも知れません。塾生の発案でのびやかに活動できるよう市も応援体制を見直しました。「高知市まちづくり未来塾」の活動が地元地域はもとより全国に発信できる姿を描きながら職員一同応援しています。

未来塾のあゆみ



平成9年度

先進地視察：岡山県津山・高梁市視察

10月29日 高知市まちづくり未来塾誕生 高知のまちづくりを考える仲間が生まれました。

高知市まちづくり未来塾とは

塾生自身の資質の向上を目指すことはもちろん、各地域の取り組んでいる活動事例の紹介、情報交換(悩み、苦労話等)を行い、お互いのネットワークの形成を図ると共に地域でのまちづくり活動につなげていく事を目的に発足しました。

平成10年度

先進地視察：京都市・大阪市視察

5月9日・10日 わくわくまちづくり交流会in夜須へ参加

「住民ならではの視点によるまちづくり」と、題して高知市のコミュニティ計画の取り組みを、高知市まちづくり推進課の職員と協力してコーナーを運営しました。秦地区コミュニティは、地域住民による新たな公園づくりとして「秦地区に冒険遊び場をつくろう」コーナーを運営しました。

“まちづくりって楽しい”と思ったのは、夜の「潮騒の宴」があったからでしょうか？



平成11年度

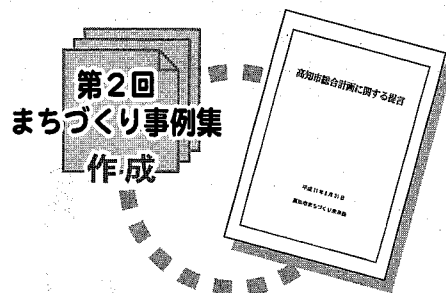
先進地視察：福岡市・北九州市視察

8月31日 「総合計画に関する提言」を提出

高知市の次期総合計画に、高知市を「パートナーシップ型まちづくりの根づいたまち」にするための、仕組みやシステムを取り入れてもらう事を目指して、次のような提言をしました。

- 提言① まちづくりを市民・行政・企業がパートナーシップで進めるしくみをつくる。
- 提言② まちづくりセンター・まちづくりハウスをつくる。
- 提言③ まちづくりへの参加を支援するシステムをつくる。

この提言は、「まちづくり条例」や「ふれあいセンター」が、できるキッカケとなりました。



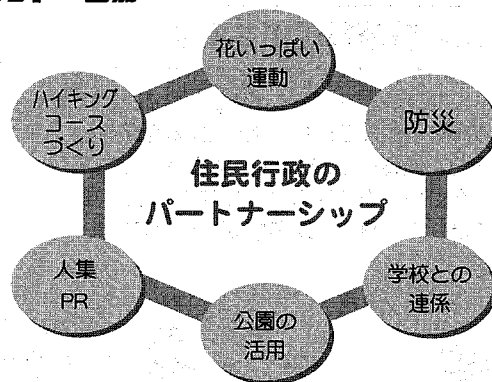
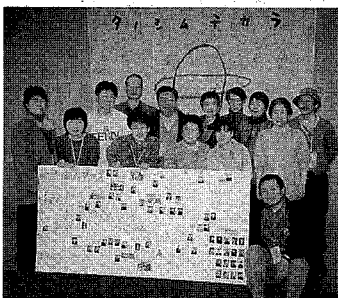
平成12年度

先進地視察：神戸市・京都市・大阪市視察

1月29日・27日 第14回地域づくり団体全国研修交流会高知大会「タノシムチカラ」へ参加

「住民と行政の知恵バトル」と題して、6つのテーマで未来塾生とまちづくり推進課が組んで、全国の参加者と激論を交わしました。

自分達の取り組みのすばらしさを再認識すると共に、全国にもすごい活動をしている地域がたくさんある事を知りました。是非、そのような所に勉強に行きたいと話合ったものでした。



平成13年度

2月15日・16日 第16回地域づくり団体全国研修交流会群馬大会へ参加

群馬大会は、県内4ヶ所(高崎・桐生・伊勢崎・榛名)の分会場に別れ、地域の特色を活かした内容となっていました。その中から、未来塾は伊勢崎会場を選び各人が関心のある分科会に参加しました。今回の群馬大会への参加は、自分達が目指すまちづくりを実践している「まちづくり人」がいたからです。

全体交流会では、鳴子を使った「だんべ踊り」が会場を盛り上げ、私たちも知らず知らず踊ってしまいました。

11月23日 「一宮ふれあいまつり」へ参加

地域住民が集い自由に交流できる場や活動の発表の機会をつくり「活気みなぎるまち」を目指す取り組みの見学を兼ねて参加しました。普段未来塾では見たこともない、素敵な姿を拝見。恐るべし一宮パワー！！

「まちづくり条例」の策定への勉強会に参加



平成14年度

先進地視察：第18回地域づくり団体全国研修交流会岡山大会視察

地域に目を向けた活動が始まる 塾生が参加できるものは率先して参加をしよう

各推進市民会議の活動(例)	横浜瀬戸	花いっぱい運動・南嶺ハイキングコースづくり 地区防災マップの作成	長 浜	史跡巡りマップ・説明板・案内板の作成、設置 地区一斉清掃
	薊 野	史跡ハイキングコースづくり 防災マップづくり・昔遊びの取り組み	旭 東 部	地区防災の取り組み
	一 宮	史跡コースづくり 一宮ふれあいまつり	旭 西 部	高ノ森環境美化啓発
	神 田	自然体験ひろばの開設	旭 南 部	鏡川の環境美化・啓発
	行 川	協働の公園づくり	秦	北山ハイキングコースづくり
	大 津	史跡伝承の取り組み 防災マップの作成	浦 戸	防災避難訓練 地域づくり型保健活動
	上 町	龍馬関連交流施設建設の提案	介 良	介良川親水公園の整備の検討 史跡・自然めぐりハイキングコースづくり
	鴨 田	史跡・お祭りの見直し 鏡川河川敷の環境整備	潮 江	筆山・皿ヶ峰ハイキングコースづくり
			潮 江 南	南嶺ハイキングコースの整備 花いっぱい運動・高見山植生調査

初めての広報誌づくり

「広報誌づくり」研修会を7.9.10月の3回実施しました。印刷全般の講義とパソコンを使って広報誌を作成する2部構成でした。また、オリジナル名刺を作ることにになり、中には、創意工夫した立派な名刺を作成した方もいました。私は、悪戦苦闘＝術後で目は良く見えていたのに＝今だに苦戦しています。

5月12日「よこせと海辺のにぎわい市」へ未来塾初参加

漁港周辺の環境美化へとつながる地域おこしとして始まった「横浜瀬戸地区」の取り組みに協力をしました。フリーマーケット・アイスクリン・バルーンアート・お絵かき教室など、日頃培った塾生パワーを発揮して頑張りました。ただ、参加者全員帰りの荷物が多かったのはどうしてでしょうか？

11月4日「高知里山祭りin豊」へ参加

全国的に問題になっている「竹」を、有効活用すると共に里山の環境保全を考える地域交流イベントを行いました。未来塾は、広報をかねて各市民会議が作成したハイキングコースのパネルを展示しました。環境のバロメーターと言われている「めだか」を展示し、終了後子ども達にプレゼントしました。



平成15年度

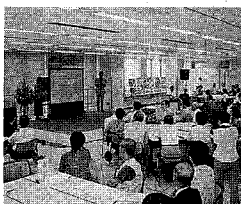
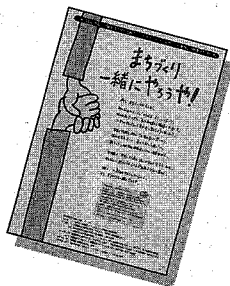
先進地視察：広島視察

「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」制定

平成15年4月1日に施行された「まちづくり条例」は、市民と行政が共に手をつないで住みよい高知市をつくるために制定されたものですが、策定委員会には未来塾からも委員を送り出しています。未来塾で1年間かけて議論した内容も条例に反映されています。

「みんなで語ろうまちづくり」を開催

高知市まちづくり未来塾の活動や、各地区のコミュニティ計画推進市民会議の活動を知るために平成15年9月7日に開催しました。未来塾の塾生は、スタッフとしてワークショップの手伝いをしました。元気者交流会の大原さんの講演や、高知街の「ララ音楽祭」の発表もあり和気藹々の内に終了しました。この取り組みがキッカケとなり、未来塾の塾生も増えました。今回の企画で、未来塾は、地域同士のくっつける「糊」の役目を果たすことができました。



平成16年度

新たな企画「まちづくり連続講座」始まる！

平成16年の9月から半年間に渡り、まちづくりの専門家を講師に招いて勉強会を行いました。間近に迫った鏡村、土佐山村との合併の問題を皮切りに、公園の利用や介護の問題、学校と地域の連携など身近な話題を中心に学びました。特に防災に関する講座は、直接生活に関係のある内容でしたので、危機感を持って聞くことができました。「自分の身は自分で守る」ことを実感しました。

平成17年度

新しく生まれ変わった未来塾

- 4月定例会：未来塾存亡の危機から自立が芽生えた
- 5月定例会：今後の運営方針が確立
- 5月22日出張未来塾：よこせと海辺のにぎわい市で絆が生まれた
- 6月定例会：役割分担と今年度の取り組み決定
- 6月11日～12 地域づくり学習：広げるぞ！学習の輪（学習会に3名が参加）
- 7月定例会：未来塾をPR（広報誌の発刊を決定）
- 8月定例会：これで大丈夫！バルーン・アート（作り方の研修）
- 8月7日出張未来塾：「すずめ地域交流祭」でたこ焼きに挑戦！
- 8月21日出張未来塾：「横浜グリーン団地子供会夏祭り」バルーン・アートを早速披露
- 9月定例会：鷲尾山合同ハイキング（未来塾主催）実行委員、広報編集委員を決定！
- 10月定例会：地域連携学習会（産業能率大学山下先生を招いて）

塾生による広報誌「みらいづくり」発行始まる

バルーンアート講座開催

全員が出来るようになりたいと塾生は講習を受けました。何人かは、講師ができる人もいて頼もしい限りです。早く後の塾生も習熟して、後に続きたいものです。練習の甲斐があり、市民会議や地区のイベントに参加協力の要請がありました。



一宮・北秦泉寺地区

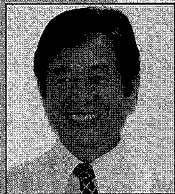
刈谷幸子 (地区連絡班長)

70歳の手習い、ただ今パソコンと奮闘中。寝不足で、頭が変になりそう。



石橋照久 (書記・HP担当)

3年前に八十八ヶ所を歩いて廻り、高知が好きになって京都から移り住んだ石橋です。60に手が届くというのに、一宮のハチキンには子ども扱い。それでもめげずに「未来塾」で、ガンバレガンバレ!



長崎美子 (ハイキング)

平凡な主婦の私は、両隣の一宮の星に輝きをもらっています。



漁師政子 (事務局長)

長女なので「長・町」と名の付くものには弱い。お調子者で「超!めっちゃう」



塾生紹介

鴨田・潮江・潮江南地区

中村明憲 (地区連絡班長)

未来塾に参加して各地区のイベントに顔を出しまくっています。とにかく未来塾はおもしろい。全員の顔を見てください。みんな地域で自分が楽しい取り組みを目指しています。私が今はまっていることは、鏡川の美化・有機農業・未来塾の作業(肉体労働担当)です。



細木美津 (副代表)

未来塾で学んだワークショップの手法は大きな財産です。老若男女安心して楽しく住める町づくりを目指して(?)ガンバレソ〜



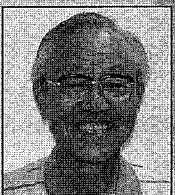
西村正子

私は、未来塾新入生です。これから勉強をしていきますのでよろしくお願いします。



野口健次

私は、鴨田地区の住民で、年齢は一人前、他はすべて半人前、大好きな漢字は「夢」です。何時も何事も、前向きに、と思っています。よろしく



尾崎美栄 (会計)

大河ドラマ「義経」のタッキーこと滝沢秀明君を「カッコいいな」と思う今日この頃です。ジャニーズなんて興味なかったのに。義経タッキー、すてきです。



横浜瀬戸・介良・長浜地区

岡田法生 (代表地区連絡班長)

一応、まちづくり未来塾の代表です。私の得意技は、仲間に助けて貰うこと。只今、次期未来塾代表候補を募集中!(条件)私と同じくらい太っていること。



森茂幸 (広報)

あっちもこっちもに顔を出して苦言や愚見を言う。平成の水戸黄門でありたい。



広松寛亮 (ハイキング)

岡田氏に誘って頂き参加することになりました。経験のない私も今では皆さんと供に楽しく活動させてもらっています。これからも宜しくお願いします。



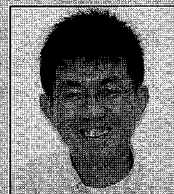
野村尚雄

未来塾で色々勉強をさせていただいています。少し人の話が聞けるようになりました。自分の時間がちょっと欲しい。



山川光則 (広報)

早いもので、未来塾に参加して3年が経ちます。精神科病院の専門職として、「地域とどう関わっていけるか」をテーマに頑張っております。



旭西部・旭南部地区

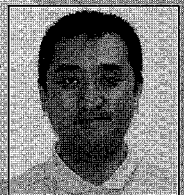
笠井博文 (副代表・地区連絡班長)

行政とのパートナーシップを第一に、まちづくりに取り組んでいます。まちづくりは、ひとづくり「旭」大好き人間です。でも、文章づくりは全くダメなのです。



和田穰二

恐妻組合、旭西部支部長の和田です。二人の子宝に恵まれ毎日、毎日、格闘しています。ビール大好き連合の会長もやっている自分が怖いです。



松井正

地域での「声かけ運動」を通して、未来のまちづくりに取り組んでいきたいです。



吉永哲也

「長生きすぎた」と言われるより「生きてて良かった」と言われる地域を皆で力を合わせ作りたいなと思っています。そのための知恵を得たいと、参加しています。



古味悦子 (事業部・広報)

事業係など立派な肩書きを頂戴しましたが、何分まだ半人前。皆さんに迷惑をかけないようにヨチヨチ歩きでも前進して行きます。



未来塾へおいでよ!! 一緒にまちづくりを行う仲間を募集しています。

「まちづくりは人づくり!」人のつながりが活気ある地域を育てます。地域の連携が明るく暮らしやすい高知市をつくります。自立そして前進! 新生未来塾は新たな一歩を踏み出しました。あなたも未来塾に参加してみませんか。

事務局連絡先

高知市鷹匠町2丁目1-43
高知市たかじょう庁舎2階
高知市市民生活部 まちづくり推進課
TEL 088-823-9080